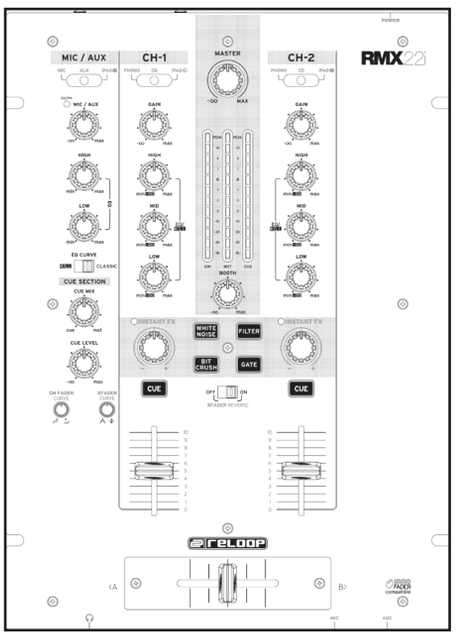
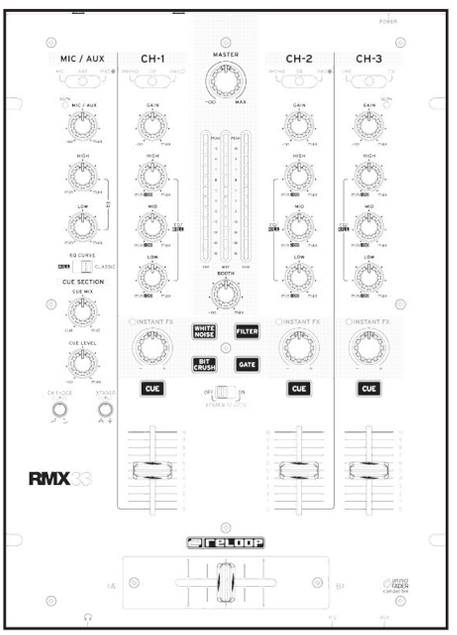
RMX22i
RMX33i

日本語共通マニュアル





CE

WARNUNG!
Um Feuer oder einen elektrischen Schock zu vermeiden, setzen Sie dieses Gerät nicht Wasser oder Flüssigkeiten aus! Öffnen Sie niemals das Gehäuse!

WARNING!
To prevent fire or avoid an electric shock do not expose the device to water or fluids!
Never open the housing!

注意！
火事や感電の原因になるので、本機器を水や液体に触れないようにしてください。また。本機器を分解しないでください。

www.reloop.com

Reloop Trademark
Global Distribution GmbH
Schuckertstr. 28
48153 Muenster / Germany
© 2013

www.dirigent.jp

株式会社銀座十字屋
ディリゲント事業部

目次

安全の上のご注意 3
規則に沿った使用法について 3
メンテナンス 3

1. 概要 4

1.1 外観 4
1.1.1 トップパネル 4
1.1.2 前面 5
1.1.3 背面 5

1.2 各部の名称 5
1.2.1 入力チャンネル 5
1.2.2 MICチャンネル 5
1.2.3 ヘッドフォン・セクション 5
1.2.4 マスター・セクション 5
1.2.5 接続部 5

1.3 接続部の説明 6
1.3.1 LINE入力 6
1.3.2 PHONO入力 6
1.3.3 MIC入力 6
1.3.4 ヘッドフォン端子 6
1.3.5 フェーダー・スタート 6
1.3.6 マスター出力 6
1.3.7 モニター出力 6
1.3.8 電源入力 6
1.3.9 iPad スプリット端子 6

2. 基本操作 6

2.1 電源ON/OFF 6
2.2 入力の選択 6
2.3 GAIN(ゲイン) 6
2.4 EQ(イコライザー) 6
2.5 ボリューム・フェーダー 6
2.6 クロス・フェーダー 6
2.7 フェーダー/クロス・フェーダースタート 6
2.8 DJ MIC 7
2.9 モニタリング 7
2.10 マスター・セクション 7
2.11 iPad等の接続 7

3. エフェクト・ユニット 7

3.1 概要 7
3.2 エフェクトの選択、ルーティング 7

3.3 エフェクト 7
3.3.1 Filter（フィルター） 7
3.3.2 Whote Noise（ホワイト・ノイズ） 7
3.3.10 Bit Crusher（ビット・クラッシャー） 7
3.3.11 Gate（ゲート） 7

4.技術仕様 8

5.製品サポートについて 8

日本語マニュアル

この度は、”Reloop RMX-22i / 33i”をお買い上げいただき誠にありがとうございます。並びに弊社のDJテクノロジーに信頼を置いていただきありがとうございます。本機を使用する前に、この取扱説明書をよく読み、すべての指示に従って操作いただきますようお願いいたします。パッケージから本機を取り出し、製品を使用する前に製品の破損や欠品が無いことをご確認ください。電源ケーブルや、筐体に損傷があった場合は製品を使用せずに、ご購入いただいた販売店にご連絡ください。

安全上のご注意

警告!
ACアダプタ(100-240 V、50/60Hz)を取り扱うときは十分にご注意ください。この定格電圧は深刻な感電につな がる可能性があります。取扱説明書の定める使用方法を遵守されない場合の損害はいかなる補償請求も対 象外とします。メーカーは、資産に対する損害、または安全上の指示を遵守しない不適切な使用による人身損 害の責任を負いません。

- 本製品は完全な状態で工場を出荷しています。この状態を維持してリスクのないオペレーションを確実にす るためにユーザーは、この取扱説明書に記載されている安全に関する指示と警告を読む必要があります。

- 安全性と認可(CE)の理由から、本製品の未許可の改造、修正は禁止されています。本製品の未許可の 修正に起因する損害の場合、どのような保証請求も除外される点にご注意ください。

- 外部から交換可能な消耗部品を除いて、製品の内部はメンテナンスを必要とするパーツはありません。 資格を有するスタッフがメンテナンスを行なう以外は、保証が適用されません。

- ヒューズは、同じクラスのヒューズと交換しなければなりません。

- 本製品を完全にセットアップしたあとに、電源が供給するだけの状態であることを確認してください。常にメインプラグを最後に接続してください。製品に電源ケーブルを接続する際にメインスイッチが「オフ」の位置にあることを確認してください。

- 規格に準拠したケーブルのみをご使用ください。すべてのジャックやネジが締められ、正しく接続されていることを確認してください。ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店にご確認ください。

- 本製品をセッティングする際に、ケーブルが鋭い物によって押しつぶされ、損害を受けないようにご注意ください。

- ケーブルが他のケーブルと接触しないようにご注意ください。電源ケーブルを接続する際は、十分にご注意ください。濡れた手でこれらのパーツに決して触れないでください。

- 電源ケーブルは、耐震性のある電源アウトレットに接続してください。使用可能な唯一の電源サプライポイントは、公共の電源供給ネットワークの仕様に適合したアウトレットです。

- 使用しない場合、また掃除を行う前には本製品を電源アウトレットから外してください。その際、必ずケーブルのプラグを持つようにしてください。ケーブルを持って引き抜かないようにしてください。

- 本製品は、水平の安定した不燃性の高い場所に設置してください。

- 本製品を設置し、操作を行う場合には、激しい衝撃を与えないでください。

- 設置する場所は、本製品が過度の熱、湿度、ほこりにさらされない場所に設置してください。ケーブルが煩雑に置かれていないことを確認してください。上記を守れない場合、使用者を危険にさらす場合があります。

- 本製品の上に液体をこぼしやすい容器を置かないでください。万が一、液体が本製品内にこぼれた場合、直ちに電源プラグを抜いてください。再度使用する場合には、資格のあるサービス技術者によって確認された製品をご使用ください。製品内部への液体の混入による損害は保証の対象外となります。

- 極端な高温(35°C以上)、または極端な低温(5°C以下)で本製品を使用しないてください。直射日光、ラジエーター、オーブン(閉じられた車内も含みます)などの熱源に直接触れるような場所に本製品を置かないでください。冷却ファンや通気孔をふさがないでください。常に十分な換気を確保してください。

- 本製品は、暖かい環境から冷えた環境に移動した直後に動作させないでください。この状況で起こる結露によって故障の原因となります。周囲の温度に達するまで電源を入れずにお待ちください。

- コントロールやスイッチには、クリーニング剤や潤滑油などのスプレーを使用しないでください。本製品は湿った布できれいに拭きとるだけにしてください。クリーニングのために石油ベースの溶剤や、洗浄液を使用しないてください。

- 本製品を移動や、輸送する際、購入時に梱包されていた箱をご使用ください。

- 本機の操作を開始するときに、アンプのフェーダーや、ボリュームコントロールが最小レベルになっていることを確認してください。パワード・スピーカーの電源スイッチは“オフ”であることを確認してください。一時的な 影響で起こる場合のあるショットノイズよりスピーカー等の機器の破損を避けるために 8 ~ 10 秒間程度待 ってからボリュームを上げてください。

- 電気を供給される本製品は小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。また、お子様のいる環境 下でのご使用には十分ご注意ください。

- 商業的な施設でプロフェッショナルな組織のオーガナイズによる事故防止のための規則を遵守しなければなりません。

- 学校、トレーニング施設、趣味、ワークショップなどで本製品を使用する際は、訓練されたスタッフの責任を持 って監視する必要があります。

- 後に質問や問題が発生した場合、参照するためにこの取扱説明書を安全な場所に保管してください。

規則に従った使用方法について

- 本製品は、オーディオ信号を入力、ミキシングするための DJ ミキサーです。本製品は、入力ソースとオーディオケーブルで接続されなければなりません。
- 本製品は、付属の電源アダプタを介して 100~240V、60/50Hz の AC 電源に接続するために認可されており、室内使用専用に設計されています。
- 取扱説明書に記載されている目的以外のために本製品を使用する際、製品に損害が起こる場合があり、それ は保証の対象外となります。また、指定した目的に準拠しない使用方法ではサーキットのショート、火災、電気 ショックなど、危険を伴う場合があります。
- メーカーによって決められているシリアルナンバーは、保証の権利を証明するために大切に保管してください。

メンテナンス

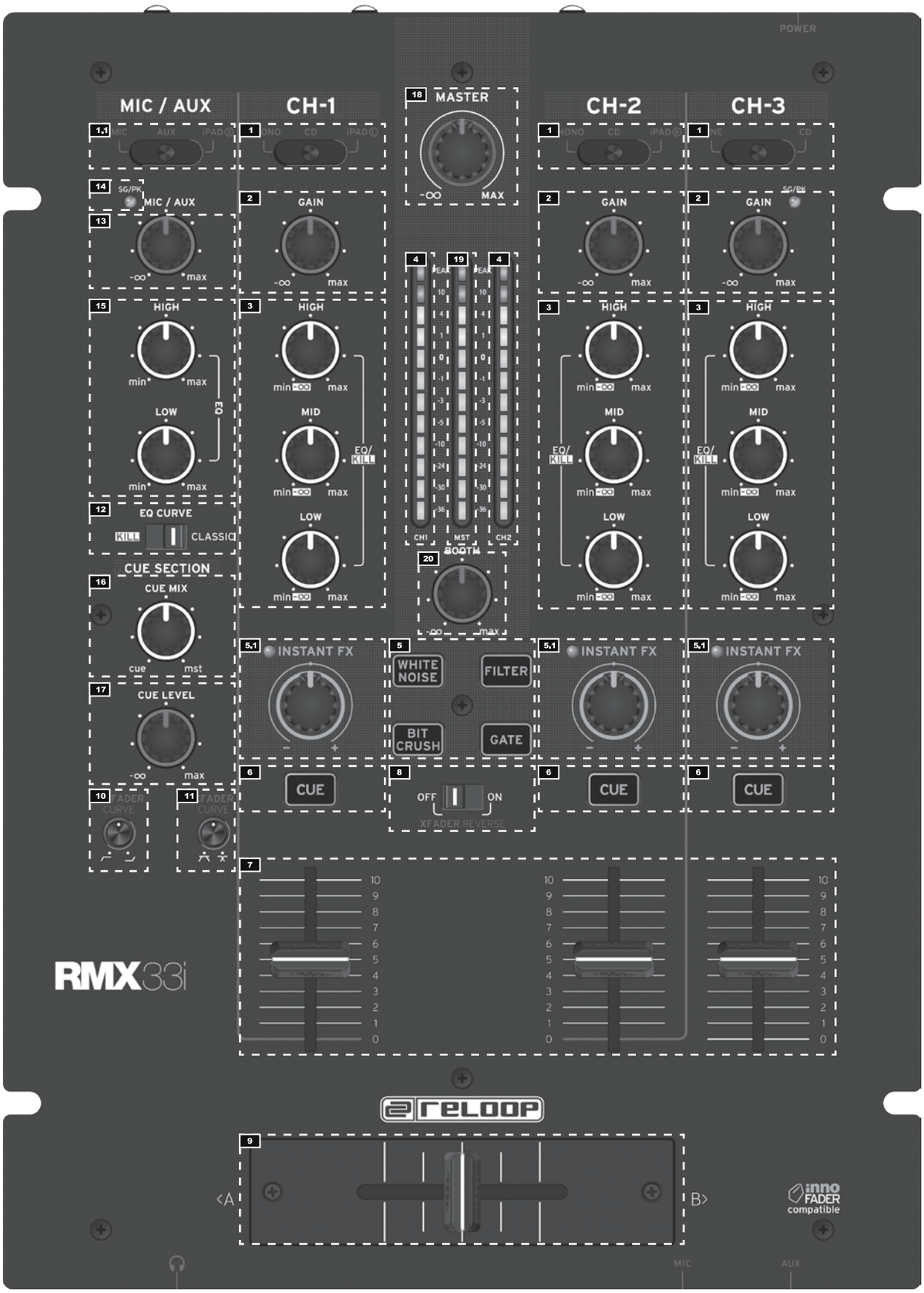
定期的に電源ケーブル、またはケースへの損害、ならびに本体のパーツ (ノブ、スライダーやフェーダー)、製 品への取り付けに関する技術的な安全をチェックしてください。
安全な操作が可能ではないと仮定される状況下では、直ちに本製品の使用をやめ、安全を確保してください。常に電源プラグをアウトレットから外してください。
本製品が、好ましくない状況下、または輸送ストレス後の長期間保存によりデバイスが機能していない、また は目に見える欠陥を負った場合、安全な操作は不可能だと仮定しなければなりません。

1.概要

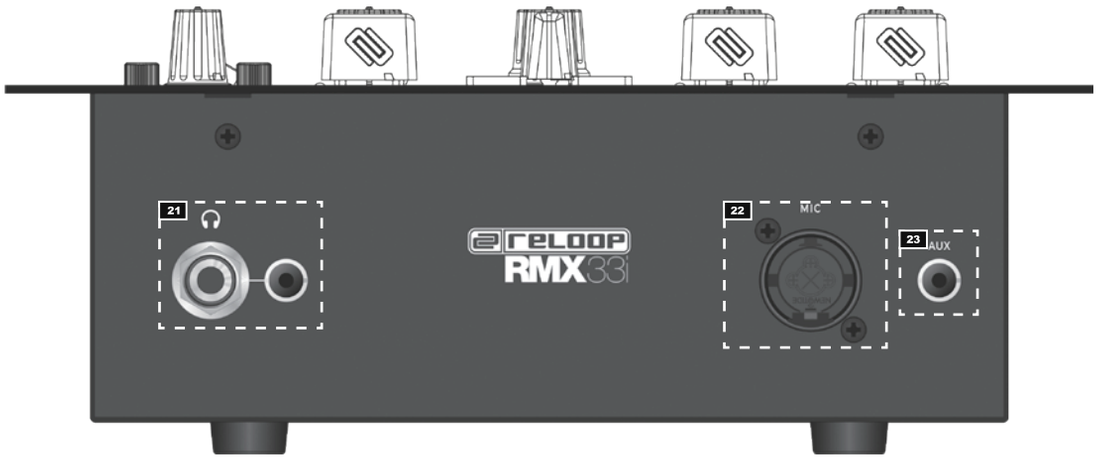
1.1 外観

1.1.1 トップパネル

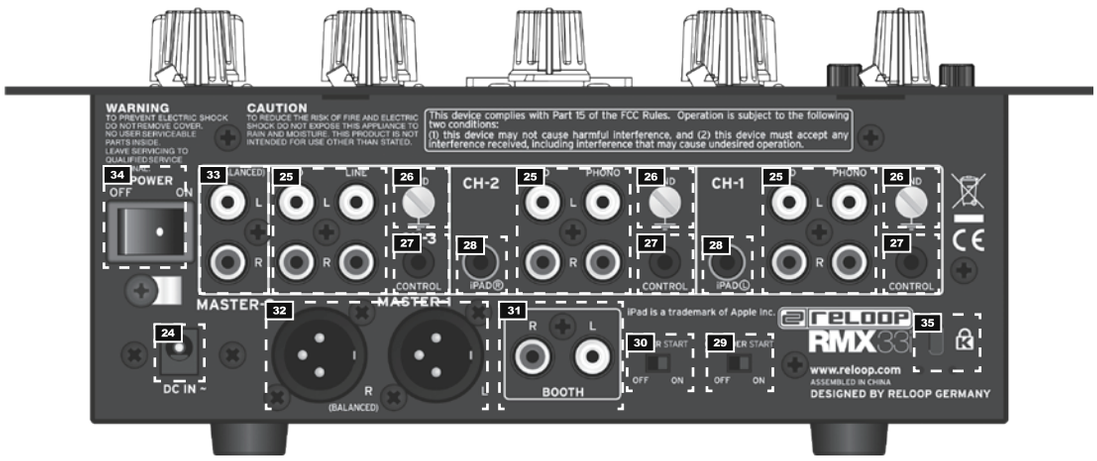
※本マニュアルでは RMX-33iを例に挙げていますが、RMX-22iもCH-3の有無以外は同じ仕様です。



1.1.2 前面



1.1.3 背面



1.2 各部の名称

1.2.1 入力チャンネル

1. インプット・セレクト(Phono / CD / iPad)
1.1. インプット・セレクト(Mic / Aux / iPad)
2. ゲイン
3. 3バンド EQ
4. レベルメーター（入力信号）
5. FX選択スイッチ
5.1. FXノブ
6. CUEボタン(モニタリング)
7. ボリューム・フェーダー
8. クロスフェーダー・リバース・スイッチ
9. クロスフェーダー
10. クロスフェーダー・カーブ調整
11. ボリュームフェーダー・カーブ調整
12. EQカーブ・スイッチ

1.2.2 MICチャンネル

13. Mic / AUX ボリューム
14. ピークLED
15. 2バンドEQ

1.2.3 ヘッドフォン・セクション

16. CUE / MIX ノブ
17. CUE ボリューム（モニタリング）

1.2.4 マスター・セクション

18. マスター・ボリューム
19. マスター出力レベルメーター
20. ブース・ボリューム

1.2.5 接続部

21. ヘッドフォン出力端子（3.5mm / 6.3mm）
22. マイク入力（標準フォン / XLR）
23. AUX入力（ステレオミニ）
24. 電源アダプター入力端子
25. チャンネル入力端子（PHONO / LINE）
26. アース端子
27. フェーダースタート入力端子
28. iPadスプリット・ケーブル入力端子
29. フェーダースタート・ON/OFFスイッチ
30. クロスフェーダースタート・ON/OFFスイッチ
31. ブース出力端子（RCAピン）
32. マスター出力端子（XLR）
33. マスター出力端子（RCAピン）
34. 電源ON/OFFスイッチ
35. 盗難防止ワイヤー接続

1.3 接続部の説明

1.3.1 LINE入力
LINE出力（CDプレイヤー、iPad、DJコントローラー等）のソースを接続します。- 25 -

1.3.2 PHONO入力
PHONE出力（ターンテーブル）の機器を接続します。 - 25 -
機器によっては必ずアース端子 - 26 - にアース線を接続してください。

1.3.3 マイク入力
マイクを Mic入力 - 22 - に入力します。

1.3.4 ヘッドフォン
ヘッドフォンをヘッドフォン出力端子 - 21 - を接続します。

1.3.5 フェーダースタート
CDプレイヤーのフェーダースタート・ケーブルをフェーダースタート入力端子 - 27 - に接続します。

1.3.6 マスター出力
マスター出力 - 34 - にオーディオケーブル(RCAピンまたは XLR）を接続し、サウンドシステムと接続します。

1.3.7 ブース出力
ブース出力 - 31 - にオーディオケーブル（RCAピン）を接続し、モニタリングシステムと接続します。

1.3.8 電源入力
付属のACアダプタを 電源アダプター入力端子 - 24 - に接続します。

1.3.9 iPadスプリット・ケーブル入力
iPadやAndoroidデバイスの3.5mmオーディオ出力端子に付属のスプリット・ケーブルを接続し、iPadスプリット・ケーブル入力端子 - 28 - に接続します。（白：ch 1、赤：ch 2）

注意
- iPad(白）とiPad（赤）はそれぞれモノラル出力です。
- djayなどのアプリ内で「スプリット CUE」の状態に設定してご利用ください。
- モニタリングを行う際は、ch1 / ch2 それぞれのCUEボタンを押して、モニタリングを行ってください。
- MICチャンネルの入力が “iPad” に選択されている場合は、MICチャンネル、ch1/ch2 それぞれに入力されるので、気をつけてください。

2 基本操作

2.1 電源のON/OFF
ボリューム・フェーダーや外部アンプ、スピーカーの音声が下がっていることを確認して、電源スイッチ - 34 - を入れます。

2.2 入力の選択
インプット・セレクト - 1 - で利用する音源ソースを選択します。

2.3 ゲイン
音源ソースを再生し、ゲイン - 2 - を回します。レベルメーター - 4 - が赤色にならないように調整します。
Mic / AUX ボリューム - 13 - の場合は、ピークLED - 14 - が点灯しないように調整します。

2.4 EQ（イコライザー）
3バンドEQ - 3 - ノブを使って、ch1 / ch2の音質を 高域(HIGH）、中域（MID）、低域（LOW）で調整します。

2.5 ボリューム・フェーダー
ボリューム・フェーダー -7 - を使って、ch1 / ch2の出力する音量を調整します。
ボリューム・フェーダーのカーブは カーブ調整 - 10 - を使って調整します。12時の状態がフェーダーと音量が同期した状態になります。

2.6 クロス・フェーダー
クロス・フェーダー - 9 - は ch1 / ch2のデッキ間をフェードすることができます。
カーブ調整 - 11 - を使って、フェーダーのカーブを調整することができます。スクラッチプレイを行う場合は、左回り。ロングミックスを行う場合は右回りがよいでしょう。
リバース・スイッチ - 8 - をONにすると、クロスフェーダーの割当が ch1 と ch2で逆になります。
尚、本機はReloop RMX Inno Faderに対応しているので、スクラッチプレイを多用される方は RMX Inno Faderへの交換をお勧めします。

2.7フェーダースタート / クロス・フェーダースタート
対応するCDプレイヤーをお持ちの場合は、専用ケーブルを 端子 - 9 - または - 7 - に接続し、スイッチ - 29 - または -30 - に接続することで、CDプレイヤーを再生すると、フェーダースタート開始されます。

クロス・フェーダースタート：
クロスフェーダーを左に切ってある状態では、ch1に接続されたCDプレイヤーが再生され、ch2に接続されたCDプレイヤーはキューポイント待機または停止します。
クロスフェーダーを右に切ってある状態では、ch2に接続されたCDプレイヤーが再生され、ch1に接続されたCDプレイヤーはキューポイント待機または停止します。

フェーダースタート：
ボリューム・フェーダーを一番下に下げると、CDプレイヤーがキューポイント待機または停止します。
ボリューム・フェーダーを上に上げると、CDプレイヤーが再生します。

注意：
CDプレイヤーによって、フェーダースタート機能の使い方は様々ですので、それぞれのマニュアルもご参考ください。

2.8 MIC / AUX
インプット・セレクト - 1.1 - で、マイクや AUX（外部入力）の選択をします。
選択されたソースは Mix / Auxボリュームで調整することができます。

2.9 モニタリング
CUE ボタン - 6 - を押すと、選択したチャンネルのモニタリングをします。
CUE / MIX - 16 - のノブで、マスター出力とCUEボタンを押したチャンネルの音量バランスを調整します。左方向に振ると選択されたチャンネルの信号がヘッドフォンに出力され、右方向に振るとマスター出力の信号がヘッドフォンに出力されます。
ミックスされる結果を予め試聴する場合は、ノブを12時方向にすると良いでしょう。

2.10 マスター・セクション
マスターボリューム - 18 - で本機から出力される最終的な音量を調整します。
マスター出力レベルメーター -19 - で赤色の範囲まで出力されないように調整すると良いでしょう。
ブースボリューム - 20 - でDJブース内の音量を調整します。

2.11 iPad 等の接続
本機に付属のスプリット・ケーブルを iPadやAndroidデバイスのヘッドフォン出力に接続し、白色端子をch1 、赤色端子をch2に接続します。これによって、EQやエフェクト、ミックスが本機側（ch1 / ch2）で行えます。アプリの設定で「スプリット・キュー」等の設定にする必要がございますので、アプリの設定もご確認ください。

iPadやAndroid側でミックスやEQをかける場合は、インプット・セレクト - 1 - 1を利用して、Mic / Auxセクションで音量を調整してください。

3 エフェクト・ユニット

3.1 概要
本機には4種類の高品位なDSPエフェクトが搭載されています。
White noise、Filter、Bit crush、Gate

3.2 エフェクトの選択、ルーティング
FX選択スイッチ - 5 - で 任意のエフェクトを選択します。選択されたエフェクトのボタンが青色に点灯します。

選択したエフェクトを有効にするには、FXノブ -5.1 - を左右に回します。12時方向にある場合はエフェクトは無効の状態です。
各エフェクトの詳細は下記をご参考ください。

3.3 エフェクターの種類

3.3.1 FILTER
フィルターの効果を得ます。右に回すとハイパス・フィルター、左に回すとローパス・フィルターになります。

3.3.2 WHITE NOISE
ホワイトノイズを選択したチャンネルに追加します。

3.3.3 BIT CRUSHER
オリジナルの信号を破壊して、意図的にチープなサウンドにします。

3.3.4 GATE
入力される信号レベルによって、ブツ切りのような効果を得ます。

4 技術仕様

RMX-22i

名称： **2チャンネルDJミキサー**
電源： **DC5V、3A**
寸法： **254 x 355 x 104 mm (W x D x H)**
重量： **3.7kg**

入力：
Line / CD / iPad / AUX：51K OHM / -14dBV (200mV) +/-1dB
Phono：47K OHM / -50dBV (3.16mV) +/-1dB
Mic：12K OHM / -54dBV (1.99mV) +/-1dB

出力：
Master：1K OHM / 0dBV (1V) +/-2dB
Balanced：600 OHM / 0dBV (1V) +/-2dB
Booth：1K OHM / 0dBV (1V) +/-2dB
Phones：33 OHM / 0dBV (1V) +/-2dB

周波数特性：
iPad / CD / AUX：20 - 20K Hz +2/-3dB
PHONO：20 - 20K Hz +2/-3dB(RIAA) AT INPUT LEVEL = -60dBV
MIC：20 - 20K Hz +2/-3dB
Freqncy Increase/Decrease：20 - 20K Hz +2/-3dB

S/N比：
iPad / CD ：more than 80dB at 0dB INPUT
PHONO：more than 70dB at -36dB INPUT
MIC：more than 70dB at 0dB INPUT
AUX：more than 70dB at -40dB INPUT

RMX-33i

名称： **3チャンネルDJミキサー**
電源： **DC5V、3A**
寸法： **254 x 355 x 104 mm (W x D x H)**
重量： **3.7kg**

入力：
Line / CD / iPad / AUX：51K OHM / -14dBV (200mV) +/-1dB
Phono：47K OHM / -50dBV (3.16mV) +/-1dB
Mic：12K OHM / -54dBV (1.99mV) +/-1dB

出力：
Master：1K OHM / 0dBV (1V) +/-2dB
Balanced：600 OHM / 0dBV (1V) +/-2dB
Booth：1K OHM / 0dBV (1V) +/-2dB
Phones：33 OHM / 0dBV (1V) +/-2dB

周波数特性：
iPad / CD / AUX：20 - 20K Hz +2/-3dB
PHONO：20 - 20K Hz +2/-3dB(RIAA) AT INPUT LEVEL = -60dBV
MIC：20 - 20K Hz +2/-3dB
Freqncy Increase/Decrease：20 - 20K Hz +2/-3dB

S/N比：
iPad / CD ：more than 80dB at 0dB INPUT
PHONO：more than 70dB at -36dB INPUT
MIC：more than 70dB at 0dB INPUT
AUX：more than 70dB at -40dB INPUT

5 製品サポートについて

本書や製品に付属のスタートアップガイドをご覧いただいても解決できない問題がございましたら、Dirigent カ スタマーサポートまでご連絡ください。なお、サポート・サービスをご利用いただくためには、Dirigent へのユー ザー登録が必要です。登録の確認ができない場合、サポート・サービスをご利用いただくことができません。予めご了承ください。

■Dirigentへのご登録方法：
Dirigentサポートページにアクセスし、Reloopオンライン登録フォームよりご登録をお願いいたします。

■Dirigentカスタマーサポート：
電話でお問い合わせの際は、Dirigent へのご登録確認のため、お名前・製品名・製品シリアルナンバーをお伺いいたします。また、メールでのお問い合わせは、Dirigent サポートサイトのお問い合わせフォームをご利用ください。

電話番号：03-5159-1822（受付時間：平日10:30〜17:00）
休業日：土日祝日および弊社特別休業日
Dirigentサポートサイト：https://www.dirigent.jp/support/